

項目	取り組み内容
市町村及び地域の関係機関との連携体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市との定期的な情報共有の実施(中核機能の在り方・進め方、基幹相談支援センター・障害者発達支援センターとの連携も含め検討)</li> <li>・はままつ児童発達支援ネットワーク連絡会の開催(奇数月 年6回 13:30~15:00)</li> <li>・浜松市障がい者自立支援協議会の運営・参加 (こども部会 アセスメントワーキング・強度行動障がいプロジェクト・北エリア連絡会コアメンバー・中央エリア連絡会参加)</li> <li>・市内の児童発達支援センター同士との連携(児発ネットワーク会議への参加 年12回)</li> <li>・療育と地域保健の連絡会(健康づくりセンター7か所、年2回ずつ)</li> <li>・県知的障害福祉協会にて「地域と中核機能について」講師を招いて研修及び県内児発センター等との情報及び意見交換の実施(参加者20名)</li> </ul>
専門的な発達支援及び家族支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士、児童指導員、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、公認心理士等、看護師、管理栄養士の配置</li> <li>・ペアレントプログラムの実施</li> <li>・保護者支援“あーだこーだの会”の実施(年11回 延べ46名)</li> <li>・音環境ワークショップ研修の実施 (幼保療育担当者・2回コース基礎と実践+実践園見学会と交流会の実施)8月18日、11月28日、3月7日 参加者延べ 94名</li> <li>・親子関係形成支援事業(幼児コース)1コース6回 2会場 実施</li> </ul>
地域の障害児通所支援事業所との連携体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業所等連絡会の開催(奇数月 年6回 15:30~17:30) 5月62事業所、7月55事業所、9月51事業所、11月49事業所、1月44事業所、3月44事業所参加</li> <li>・常葉大学保育学部赤塚めぐみ講師による「外国にルーツのある子どもの日本語を学びの特性から考える」 研修会市内3か所の児発センターと共同開催 1/28 参加者71名</li> </ul>
インクルージョンの推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援事業の実施(延べ385名実施*令和8年2月までの実績)</li> <li>・浜松市保育所等巡回支援事業の実施(延べ人数612名*令和8年2月までの実績)</li> <li>・併行通園児の通う幼保との連携(見学・情報交換・支援連携)</li> </ul>
入り口としての相談機能体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市発達相談への職員派遣(年6回実施)</li> <li>・子育て支援拠点事業”引佐広場”の運営を通じ、発達支援プログラム、地域対象の講座の開催、専門職(心理・言語・からだ)の相談実施</li> <li>・たんぽぽ広場の受託、実施(施設型 延べこども991人保護者947人・センター型 延べ1069人)</li> </ul>